

海辺に生息する鳥 Shore Bird

1 体長 ※括弧内は翼を広げた時 2 見た目の特徴



オオソリハシシギ Bar-tailed Godwit

- 1 37 ~ 39cm 2 オスは体が茶色で、メスは白い。

英名の Godwit とは、古い英語で「神を知る」という意味で、オーストラリアで最も知られている渡り鳥の1つ。また、長く飛び続けることができる鳥としても知られ、ニュージーランドからアラスカまでの約 11,700km を渡った、との記録が残る。



アカエリシロチドリ Red-capped Plover

- 1 14 ~ 16cm
2 成長すると頭頂部がオレンジ色になる。

主にオーストラリアの海岸付近全域で見ることができるが、内陸部の水辺付近などでも見かけることができる。



オーストラリアミヤコドリ Pied Oystercatcher

- 1 42 ~ 50cm
2 体は白と黒で、目の周りと嘴がオレンジ色。

餌の牡蠣を食べる際に、嘴を使って砕くか、こじ開けるかは、親が子どもにどのように教えるかによって決まる。

コラム オーストラリアのユニークな鳥

オーストラリア大陸は、他の大陸と隔離されていたため、コアラなどの有袋類やバンクシアなどのワイルドフラワーといった独自の生態系を築いてきました。そして、それは、「鳥」にも影響しています。

【飛ばない鳥】

オーストラリアには数種類の飛ばない鳥がいます。代表的なのは、タスマニアを除くオーストラリア全域に生息し、国鳥に選ばれているエミュー (Emu)。ダチョウに次ぐ世界で2番目に大きな鳥で、時速 40 キロメートルで走れます。他にも、クイーンズランド州北部に生息し、世界一危険な鳥と言われているヒクイドリ (Cassowary) や南海岸に生息するフェアリーペンギン (Fairy Penguin) など、飛ぶ代わりに走りや泳ぎなどに特化した鳥たちがいます。



ヒクイドリ (クイーンズランド州のミッション・ビーチにて)

【まねする鳥】

オーストラリアの南東の一部に生息するコトドリ (Superb Lyrebird) は、オスが持つレースのような長い尾羽が特徴の鳥です。この鳥は、他の鳥類の鳴き声をまねし、カメラのシャッター音や車のブレーキ音など人工的な音をまねすることもできます。また、この鳥はオーストラリアの 10 セントコインのモデルにもなっています。

